

# “安心安全”が できるまで。

取材・文／はらみづほ 写真／穂野孝行

脱・電磁波＆“ありきたり”。

「主人の転勤による引越しと、出産と子育ての連続で疲労し、暖房便座に座ると体調を崩すと気づいたのがきっかけで、電磁波過敏症だと自覚したんです」と語る則子さんは、3人の母とは思えぬほど若々しい自然派レディ。電気もアンテナもない山の中で暮すしかないのかと悩んでいたある日、雑誌で西條さんの会社を知り訪問。電磁波対策や自然な家づくりへの徹底した配慮に感動し、ここに頼むしかない！と即決したそうです。

「電磁波や化学物質対策に加え、自前のステンドグラスやアンティーク家具を内装に使う加工やアレンジもお願いでき、夢が叶いました。オヤジギャグで和ませてくれる西條さんと、若いのに頼りがいのある山端さん（設計士）の絶妙コンビのおかげで、打合せも家づくり作業も本当に楽しかった！あの窓は苦勞をか

けたな〜とか、この壁は西條さんの息子さん（西條さん）が塗ってくれたな〜とかね、我が家は西條デザイン（西條さん）の思い出でいっぱいなんです」と則子さん。センスあふれる安心空間は、ストレスフリーの交流から生み出されたものだったのですね。

1 言えば10 伝わる、  
という安心。

「美容院で希望の髪型を伝えるみたいに、憧れのイメージ写真を雑誌の切り抜きなどで伝えると、次回の打ち合せ時には山端さんがそれを図面やイラストにしてくださって、それがね、『何でもこまでわかったの？』と思うほどの確信なんです。私の好みや望みの理解が早くて感激したし、安心できましたね。職人さんや業者さんも皆さんいい笑顔で、マナーもきちんとしていらして、ご近所の評判も良かったんですよ。私たち家族が見ていない時も、誠実にお仕事してくださっていると感じました。本当は完成後、お一人ずつにお礼を言いに行きたかったくらい感謝しています」。

「『安心安全』のベースは、まごころに根ざした的確な説明や、誠実な行動」。今回の取材で、あらためてそんな事実を、確認させられた気がします。

この記事の続きは、HPでお楽しみください。  
<http://www.saijo-d.com>

無垢材、珪藻土、和紙など、シンプルな自然素材がベースの空間に、ステンドグラス入りの窓やドアが絶妙に調和。



颯希（さつき）ちゃん

菫（すみれ）ちゃん

伊藤 則子さん

スローライフ系雑誌に出てきそうな、美人三姉妹のお母さん。自然素材のカーテンは、足踏みミシンで縫ったお手製。



無垢の木肌や土壁は、自前のアンティーク家具とも相性バッチリ。



子ども部屋にも、道産材の温もりがいっぱい。



金属使用を極力減らし、自然素材で脱電磁波を目指しました。



自前のステンドグラスを、ドアにアレンジ。



アンティーク鏡も、毎日ステキに大活躍。



エコデザイナー  
西條 正幸

## 電磁波注意報！

最近増えている「電磁波過敏症」という病。電気製品が集中するキッチン周辺が、一番の危険地帯かもしれません。便利な電気製品はなかなか手放せませんが、例えば、コンセントや照明器具にアースを付けるだけでも、電磁波汚染の緩和が可能。相談しながら、いろんな工夫で安全地帯をつくりましょう。

**BiO+**  
無垢材西條デザイン

09

資料請求

©企画・設計 有限会社 ビオプラス西條デザイン  
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1  
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581